

出合い、ふれ合い、学び合い、そして支え合い

あかねいろ



認定特定非営利活動法人あかねグループ 情報誌

2017年4月1日発行

No. 31

35周年記念講演会 開催しました！

講師 ■ 野村 知子 氏

演題 ■ 「地域とつながる食と心の栄養」

日時 ■ 1/22(日) 13:30～15:30 場所 ■ 若林区文化センター

あかねグループは2月3日、設立35周年を迎えました。それに先立ち、多くの皆様の長きにわたるご支援に感謝し、「35周年記念講演会」を開催いたしました。

講師にお招きしたのは、あかねグループが長くお世話になっている桜美林大学健康福祉学群教授の野村先生。地域コミュニティづくり、高齢者が元気になれるまちづくりや、住民参加型の食事サービス等を多く研究されています。私たちの話をよく聴き、アドバイスをくださる頼もしい先生です。

今回は、あかねのテーマとも重なる「地域とつながる食と心の栄養」について、さまざまな角度から切り込み、私たちの興味をひくキーワードをちりばめながら、わかりやすく楽しく講演してくださいました。

当日お越しになった110名超のお客様も、野村先生のお話にヒントをいただいたのではないかと思います。あかねの会員も皆、自分たちの活動を振り返り、これからやるべきことを模索するなかで気づくことがたくさんありました。

貴重な講演をありがとうございました。そしてお越しくくださった皆様へ心よりお礼申し上げます。



講演要旨

- ・「地域とつながる食と心の栄養」とは「心の栄養」=かかわる人が元気になれる
- ・3つの栄養について
- ・住民主体の食事サービスの特徴
- ・老いと向き合う私のための活動
- ・現状認識
- ・センター機能の強化
- ・地域を耕す

35周年記念講演会理事長挨拶 〈要旨〉

理事長 清水 福子

35周年記念講演会にご来場ありがとうございます。初代代表福永隆子さんが逝去されたこの席にいないことが残念ですが、私たちの心の中で見守ってくれていると思います。

35年の活動の中、会員それぞれが利用者様とのいろいろななかかわりを経験しています。ヘルパーMさんと利用者Y様の出合いもそのひとつ。23年前、84歳のY様のお掃除、料理、話し相手を始めたMさん。あかねのサポート各種を利用しながらY様は103歳まで自宅で暮らし、昨秋、あかねのヘルパーの見守る中、106歳で逝去されました。Mさんはじめあかねのヘルパーは、Y様から生きるということを教わりました。最後までその人らしく過ごして欲しいというあかね理念の下、最良のケアプランを立て、多くのあかね会員がかかわり、サービスさせていただいたことを誇りに思います。

このような貴重な体験と多くの利用者様との出合いを大切に、これからもあかねらしい活動を継続していきます。支え支えられる双方が元気な街を目指します。皆様、これからも今までと変わらぬご指導、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

